

＜広報・記録＞

ホームページを活用し、大阪のバスケットボールの情報源として、さらに充実した内容を掲載していく。

＜技術・普及＞

1. 方針

今年度においても、技術・普及部は、選手登録費など広く府民から徴収した資金を主たる財源とすることなどから、高い還元性を保つとともに、府民に対するアカウンタビリティを果たすことができるよう、公平かつ透明性を保持しながら、大阪全体の強化・普及を図るための活動を推進する。

組織の共有コンセプトとして、常に「強化」と「普及」の両輪を見据え、「強い大阪」のみならず、より多くの人々が楽しく安全にバスケットに親しむことのできる「バスケットの町大阪」を目指す。そしてその実現に向けた事業として、強化の観点から「国体優勝」や「全日本選手育成」をスローガンに据えた練習会や指導者育成、普及の観点から、トップリーグの試合の開催や指導者のいない中高生の活動場所の提供、さらに医科学の観点から選手のフィジカル測定や安全管理に関する情報の発信など、「する」「観る」「支える」等様々な立場からの多角的なアプローチをおこなう。今年度の課題は、昨年度後半から取り組んでいる中学生対象の一環育成プロジェクト（OBTA）の企画運営、大阪独自の継続性かつ効果的な指導システムの確立、安心安全にバスケットボールに親しむための講習会の企画運営など。推進に向けては、ミニ連・中学生連・中体連・高体連・専体連・学連はもとより、車椅子連盟、女性連盟などが連携し、組織横断的に取り組むことで、より多くの人々がバスケットボールに親しみ楽しめる社会の創造に向けた事業展開をおこなう。また、3×3競技の普及についても大阪3×3連盟との連携強化をはかる。

（一財）大阪府バスケットボール協会が全国に向け、強化、普及、指導者育成における課題提起や理想たる方向性の発信を行い、課題克服や目標実現に向けた活動を自ら実践することで、日本バスケットボールの発展にも寄与することを目指す。

2. 今後の課題と具体案

（1）強化事業

①国体事業

＜選手の発掘・育成＞

- ・ トップリーグを引退した選手の人材活用
- ・ 軸となるチーム・選手の発掘（成年）
- ・ 「強豪大阪」に向けたコーチ、指導者の選考
- ・ 学連、クラブ連、実連の連携（成年）
- ・ 強化練習会の充実
- ・ 成年男女一合同練習会の充実、人材発掘
- ・ 少年男女一OBTAの発展、充実
- ・ 中高一貫指導体制・マニュアルの確立
- ・ 長身者の育成

＜指導者の充実＞

- ・ 若手スタッフの発掘と育成
- ・ 継承性を考慮したスタッフ選考
- ・ 女性スタッフの発掘・育成（成年女子・少年女子）

②OBTA (Osaka Basketball Training Academy) 事業

<今年度事業>

- ・U-13 年間10回(前後半5回)の講習会(中央講習)
- ・U-14 4月~7月に5回の講習会(中央講習)

<課題等>

- ・一貫指導のマニュアル化、事業の持続発展に向けた計画作成
- ・代表チームとの連携
- ・指導者、スタッフの発掘・増員
- ・事業における協会の位置づけ(中学生連盟、高体連との連携)

(2) 指導者育成事業

- ・JBA 公認コーチの登録管理
- ・JBA 公認コーチ養成講習会の開催
- ・指導者講習会(ワークショップ・スペシャルクリニック)の企画、開催
- ・指導者人材バンク(コーチ派遣)の再構築
- ・(公財)日本体育協会公認コーチの養成(受講者推薦)
- ・広報、映像事業の展開

(3) 普及事業

- ・日本スポーツマスターズ2016への選手選考、派遣
平成28年9月24日~27日 開催地:秋田県 秋田市・三種市
- ・中学生交流大会の実施(平成28年8月 開催予定)
- ・WJBLへのミニ・中学生・高校生の観戦普及
- ・シニア大会開催
平成28年9月11日(日) 会場:豊泉家千里体育館
- ・ドリームカップ大会開催
平成28年10月29日(土)~30日(日) 会場:東和薬品 RACTAB ドーム

(4) エンデバー事業

- ・伝達講習の充実
- ・エンデバー組織の確立
- ・各地区におけるエンデバー講習会の開催、特にミニ連との連携
- ・カテゴリーを越えての交流
- ・強化委員会、指導者育成委員会、普及委員会、競技部との連携

(5) その他

- ・WJBL戦評
- ・日本、近畿協会との連携
- ・各市町村連盟との連携
- ・海外指導者派遣に向けての体制づくり